

# 介護保険の自治体の公的責任と URの今後の在り方

埼玉県 和光市 長寿あんしん課  
東京 一

(現在：厚生労働省老健局総務課勤務)

# 介護保険事業計画策定のポイント(和光市)

- 国の示す計画策定準則とは別に・・・自治体の公的な責任とは！
- 地方分権下の事業計画として
- コンサル・シンクタンクに依存しない
- 我がまちの介護・保健・医療・福祉等に係るニーズ調査・分析(オールジャパンの制度と我がまち独自制度)
- サービス必要量と供給量の詳細検討(地産地消型)
- 自治体と民間事業と市民の共生型の役割分担と連携(URは?)
- 本気の例規整備・財源論及び人材育成の明確化
- スクラップビルトの検討から実現へ
- 地域包括ケアの原点と目標達成を目指す機能する計画
- 分権下の自治体職員のパラダイムシフトは必須！
- サービス提供者自らの行動変容も必須！
- 超高齢社会に持続可能な介護保険制度等をもう一度考える！

# 和光市の介護保険事業計画（長寿あんしんプラン）の実践効果

## ○基本目標

地域における介護保障及び自立支援の確立

## ○基本方針

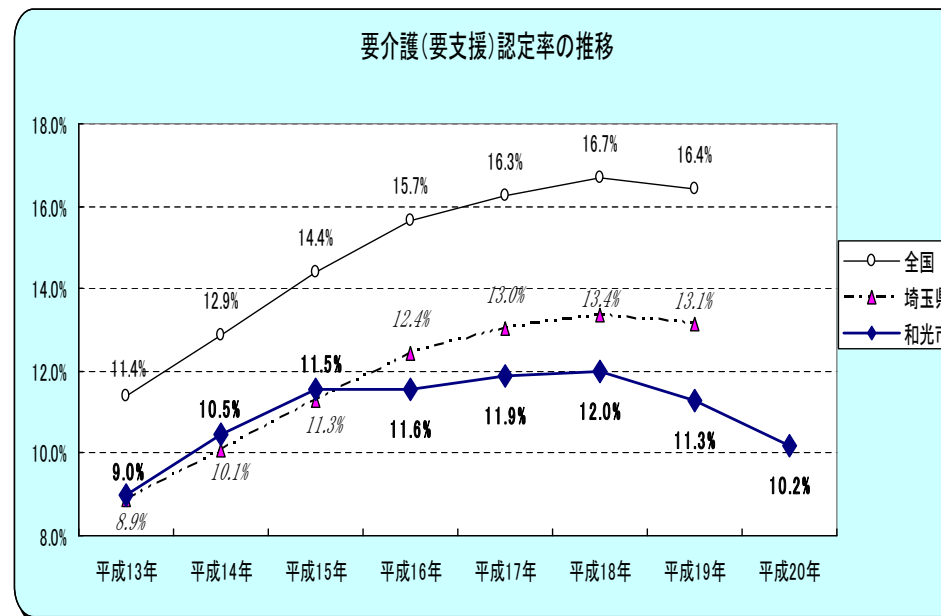
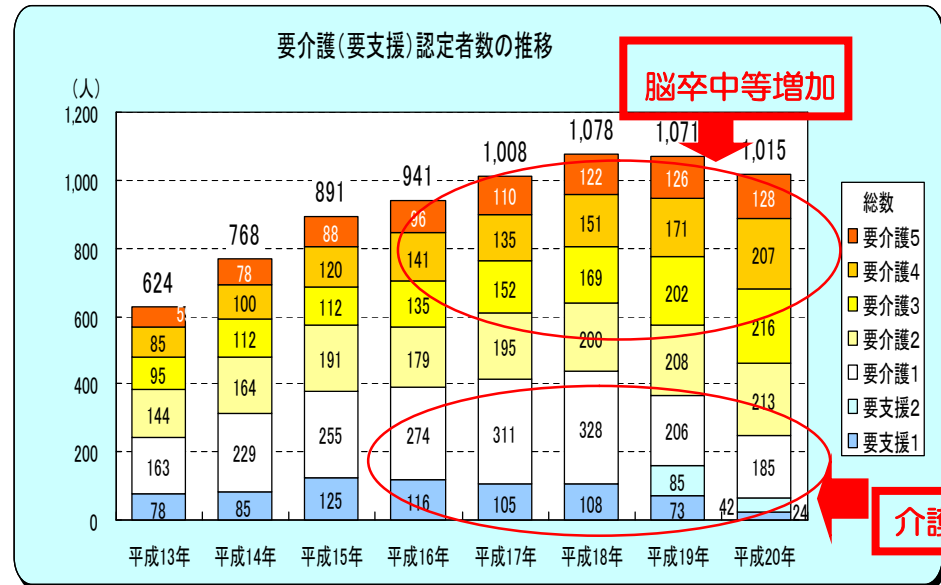
- ・ 介護予防・要介護者の重症化予防の推進
- ・ 居宅介護・在宅医療の効果的連携
- ・ 地域密着型サービス基盤の充実
- ・ 地域包括支援センターの機能強化と地域包括ケアの推進

## ☆事業運営手法

- ・ 市町村特別給付及び保健福祉事業の実施
- ・ 地域（生活圏域）の個別的・地域的な課題を抽出するスクリーニング手法の導入
  - ・ 予防・介護医療・権利擁護等の各ケースに対応するチームケア（サービス担当者会議等）に対する地域ケア会議による自立支援型マネジメント支援を徹底
  - ・ 介護サービス事業及び地域住民に対し地域課題に対応する保険者主催の独自の研修等による的確なサービス提供等を追求

## ☆具体的な効果等

- ・ 要介護認定者の減少（介護度が軽くなることや自立になることがハッピーなことを高齢者、家族及び地域住民に徐々に浸透）
- ・ 第1号被保険者保険料の低減
- ・ 制度・職種縦割りの解消によるチームケアが標準化になる
- ・ 地域で居住系を含めた包括的・継続的支援が標準化になる



# 和光市のサービス基盤（地域包括ケアを念頭に）

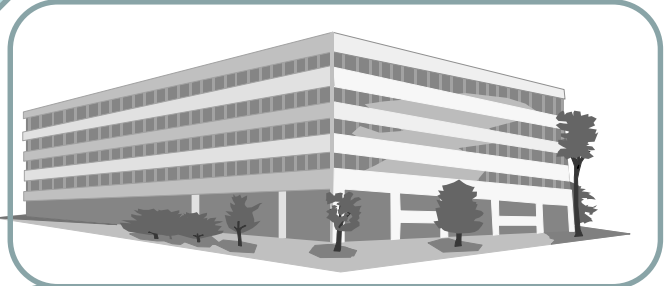
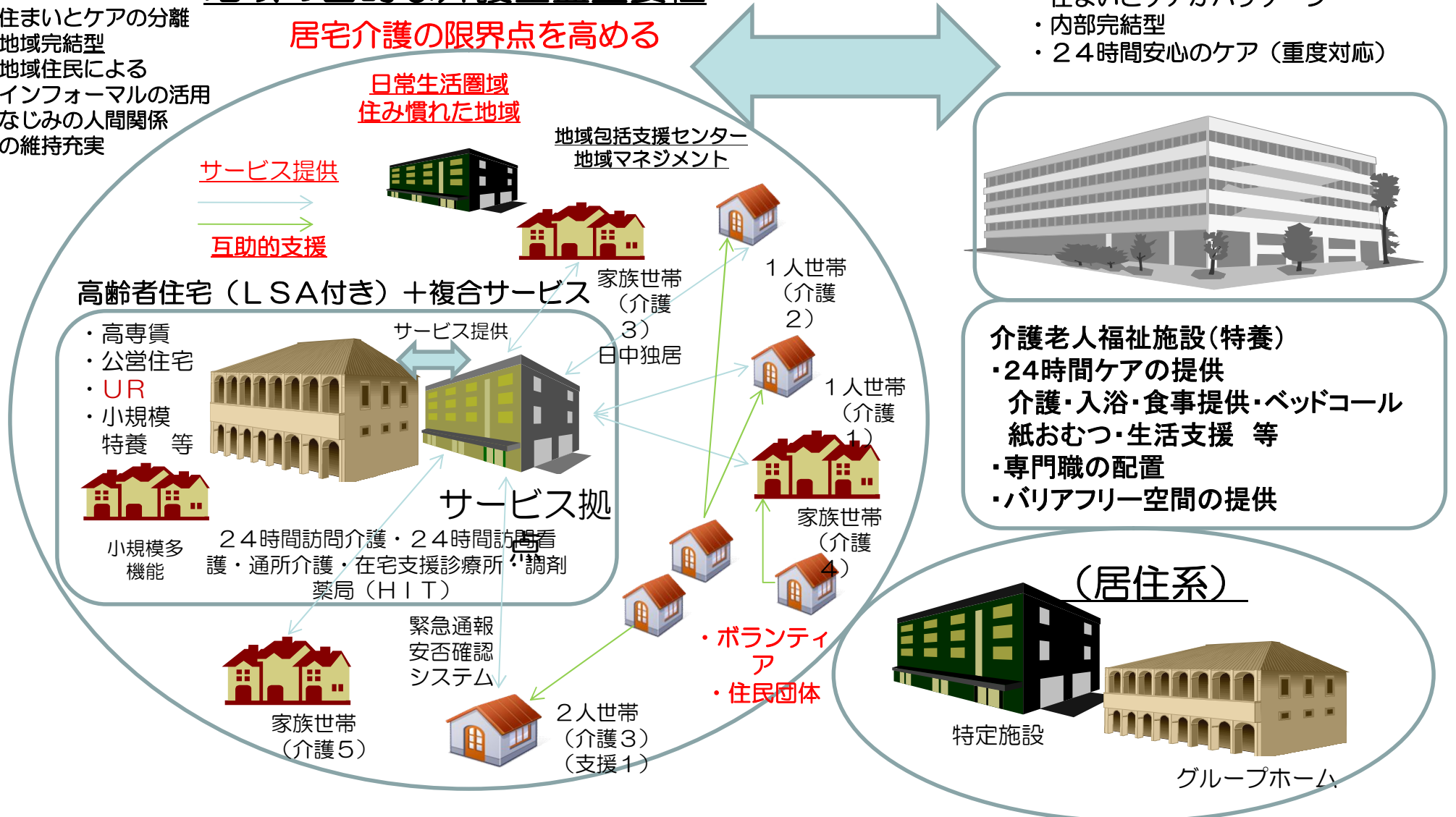
## 地域の面的な介護基盤重要性

### 居宅介護の限界点を高める

- ・住まいとケアの分離
- ・地域完結型
- ・地域住民によるインフォーマルの活用
- ・なじみの人間関係の維持充実

## 施設介護基盤の重要性

- ・住まいとケアがパッケージ
- ・内部完結型
- ・24時間安心のケア（重度対応）



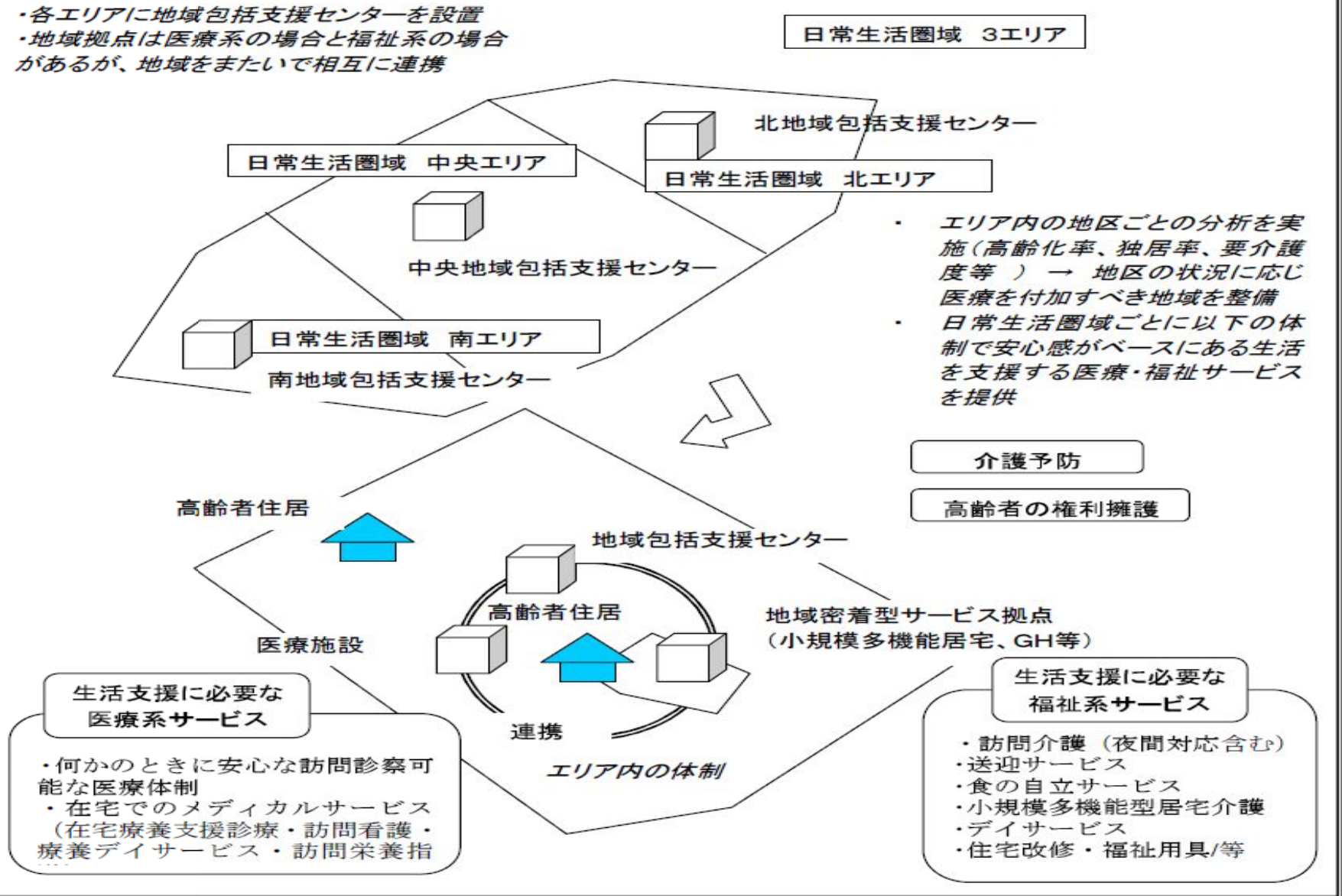
**介護老人福祉施設（特養）**

- ・24時間ケアの提供
- 介護・入浴・食事提供・ベッドコール
- 紙おむつ・生活支援等
- ・専門職の配置
- ・バリアフリー空間の提供

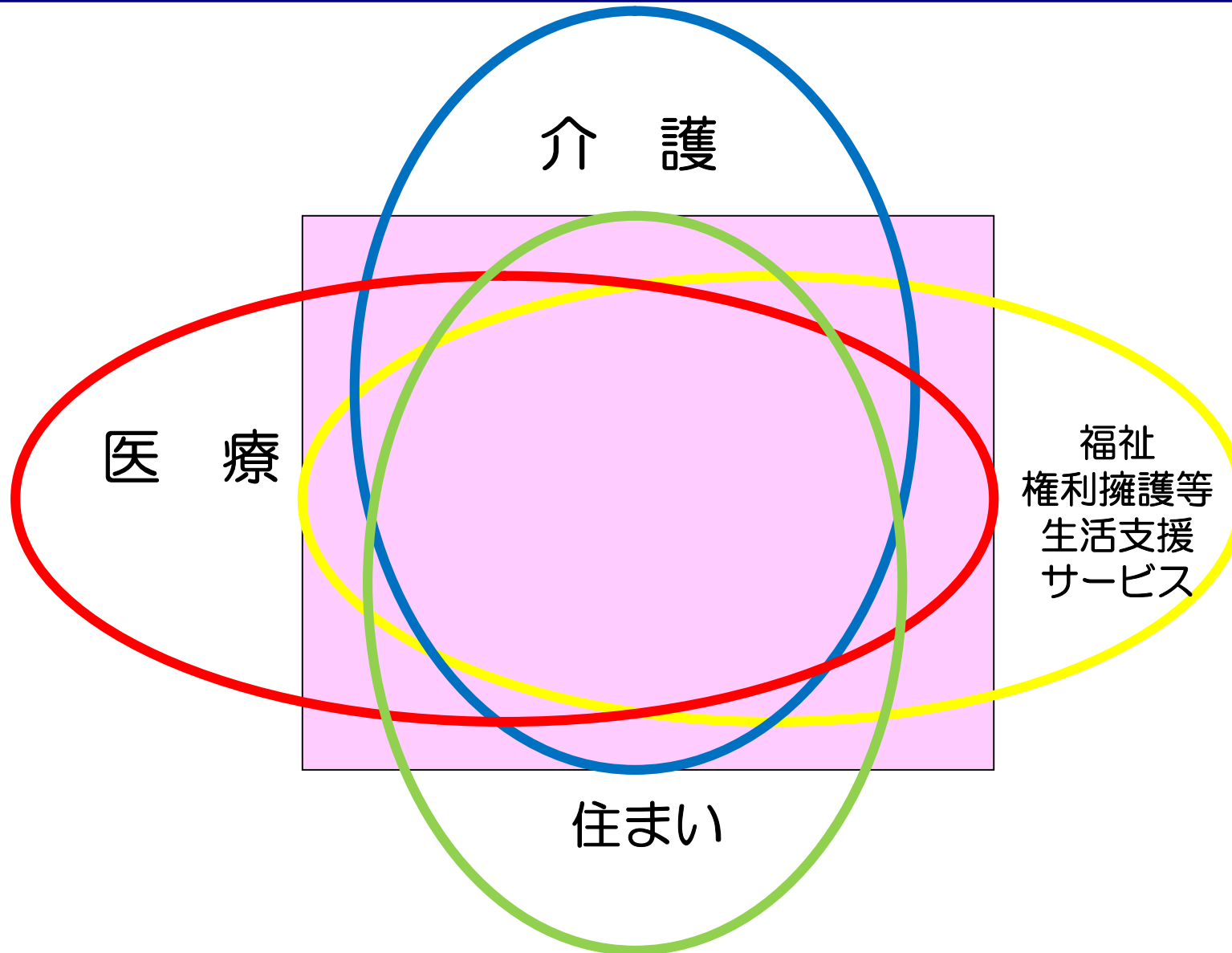
※施設において提供される各種生活支援サービスは地域においても不可欠、食事（配食等）・安否確認  
ITシステム・地域送迎・見守りネット・家賃助成等を地域支援事業に位置づけ実施。

【 和光市のサービス提供体制の概念図 】

- ・各エリアに地域包括支援センターを設置
- ・地域拠点は医療系の場合と福祉系の場合があるが、地域をまたいで相互に連携



# 制度的連携の視点



# 人的連携の視点（住まいの確保前提に）

## 医療・介護等連携

医療

医師  
歯科医師  
薬剤師  
看護師  
PT・OT・ST  
歯科衛生士

シームレス

介護

MSW(社会福祉士)  
介護支援専門員  
管理栄養士  
保健師  
精神保健福祉士  
社会福祉士  
介護福祉士  
ホームヘルパー  
無資格介護職

地域生活支援サービス

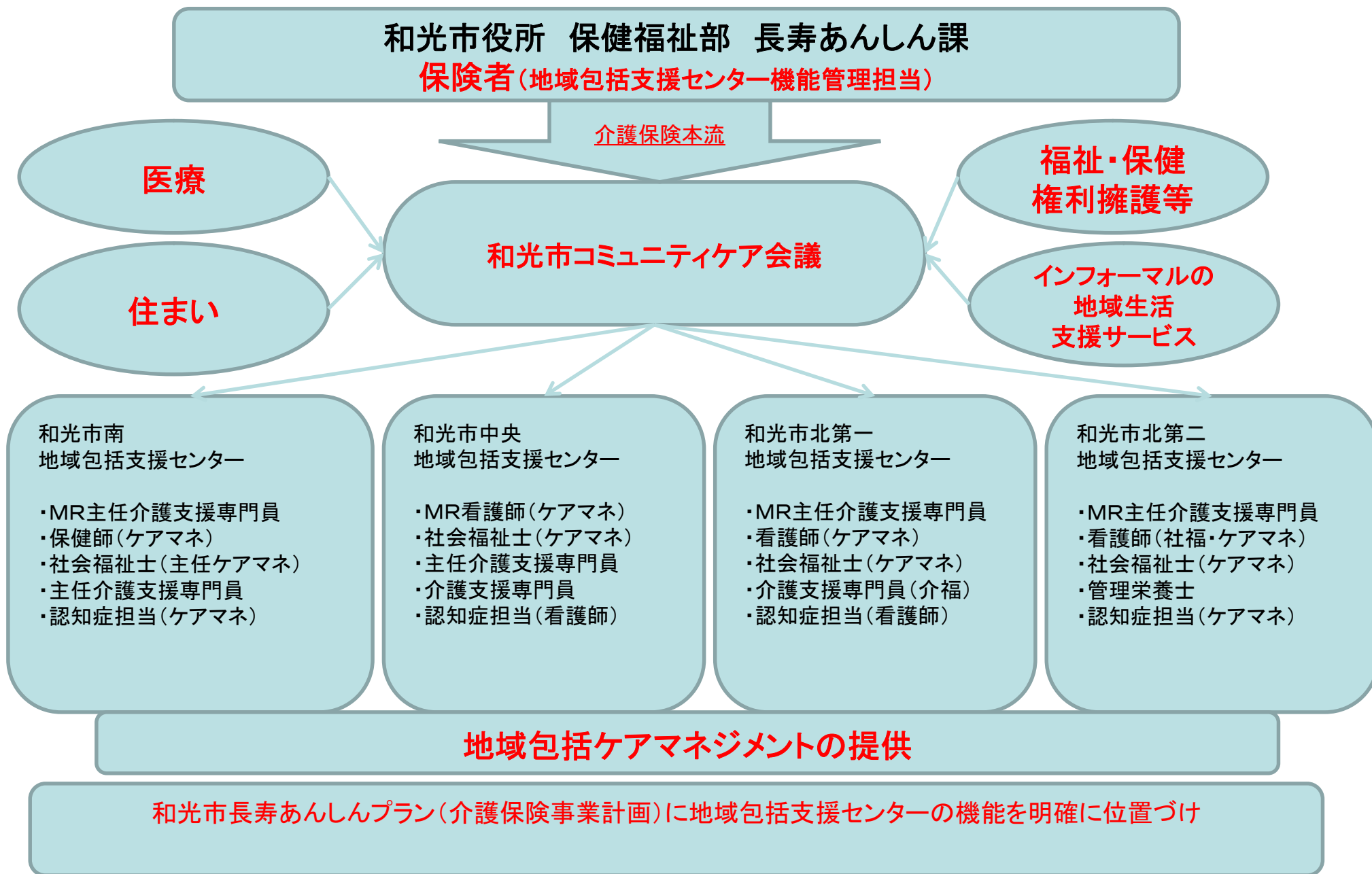
商工会  
社協  
農協  
生協  
サポーター  
NPOメンバー  
ボランティア  
自治会会員  
UR関係者  
その他多数

福祉・権利擁護等

日常生活支援員  
民生委員  
ケースワーカー  
補佐人  
補助人  
法定後見人

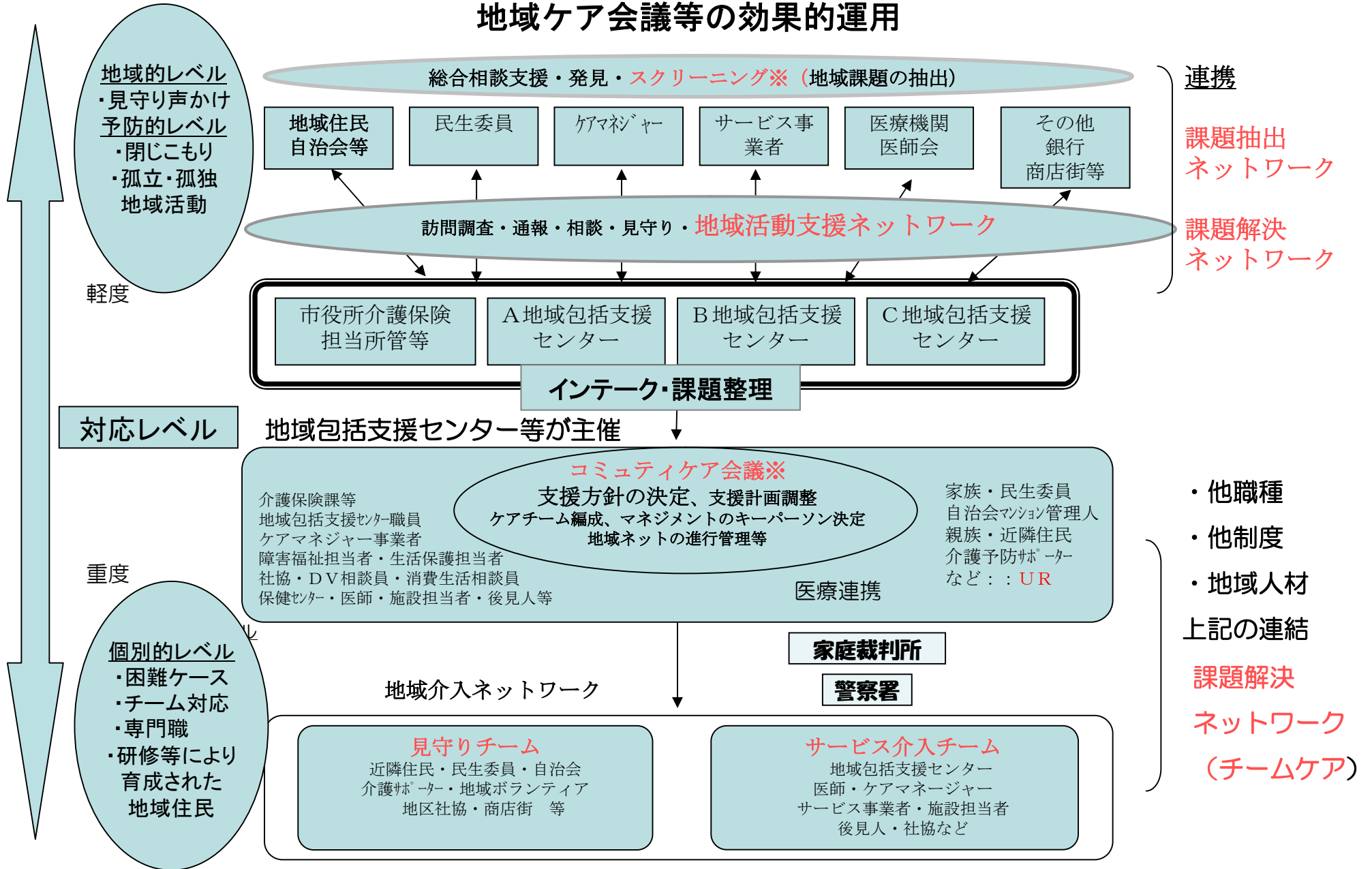


# 和光市の地域包括支援センターの事業運営体制





# 機能するネットワークと地域ケア会議等の効果的運用



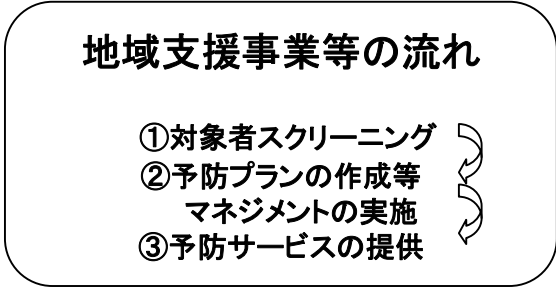
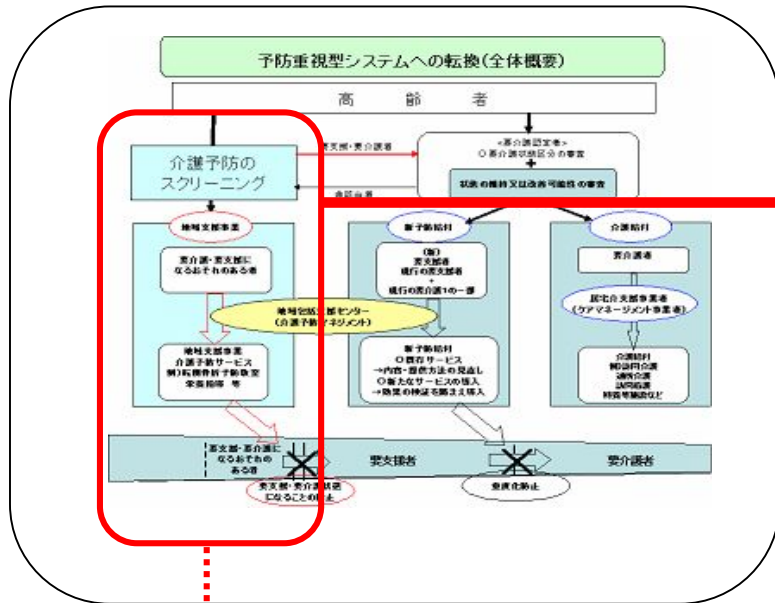
# スクリーニングシートの活用

## 保健福祉事業による的確な対象者の選定

(国の基本チェックリストも包含した)

### 和光市の手法

- ※ 保険料納付還元事業をアピール
- ※ ハイリスク者の把握
- 特定高齢者・要支援1.2等



○今までのような住民のニーズ調査では、  
一般高齢者の『要支援・要介護状態になるおそれのある者』  
の割合・人数の把握は、非常に困難。

↓

○介護予防スクリーニングシートを活用することにより

#### 11項目の点数化及びリスク判定

1. 生活機能低下	2. 閉じこもり
3. 転倒骨折	4. 低栄養
5. 虚弱者	6. 尿失禁
7. 心の健康	8. うつ
9. 足のトラブル	10. 口腔ケア
11. 運動器	

スクリーニングの目的は多様

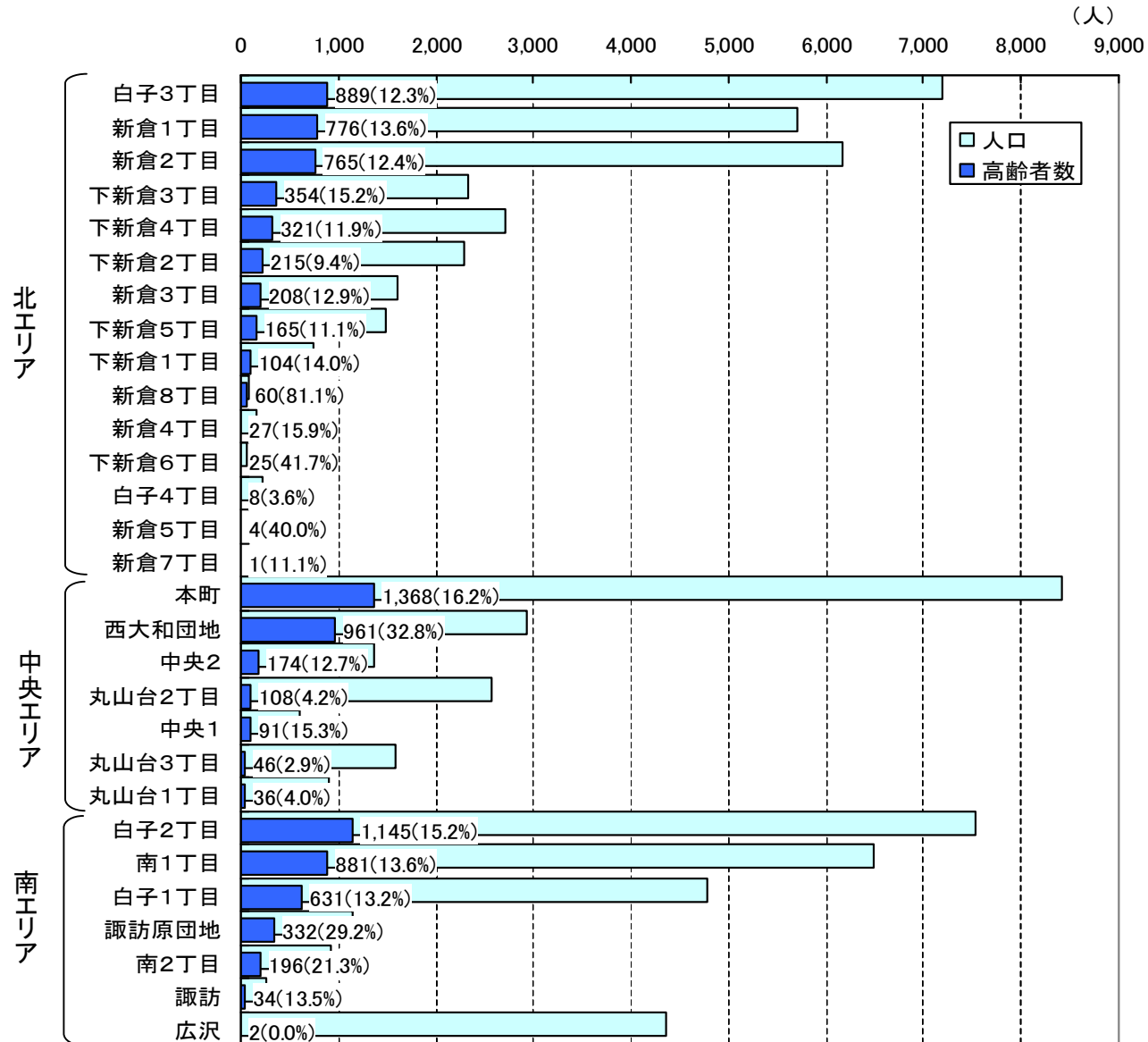
↓

生活圏域のリスク実態に適した、具体的な根拠のある地域支援事業等を企画・実施することが可能

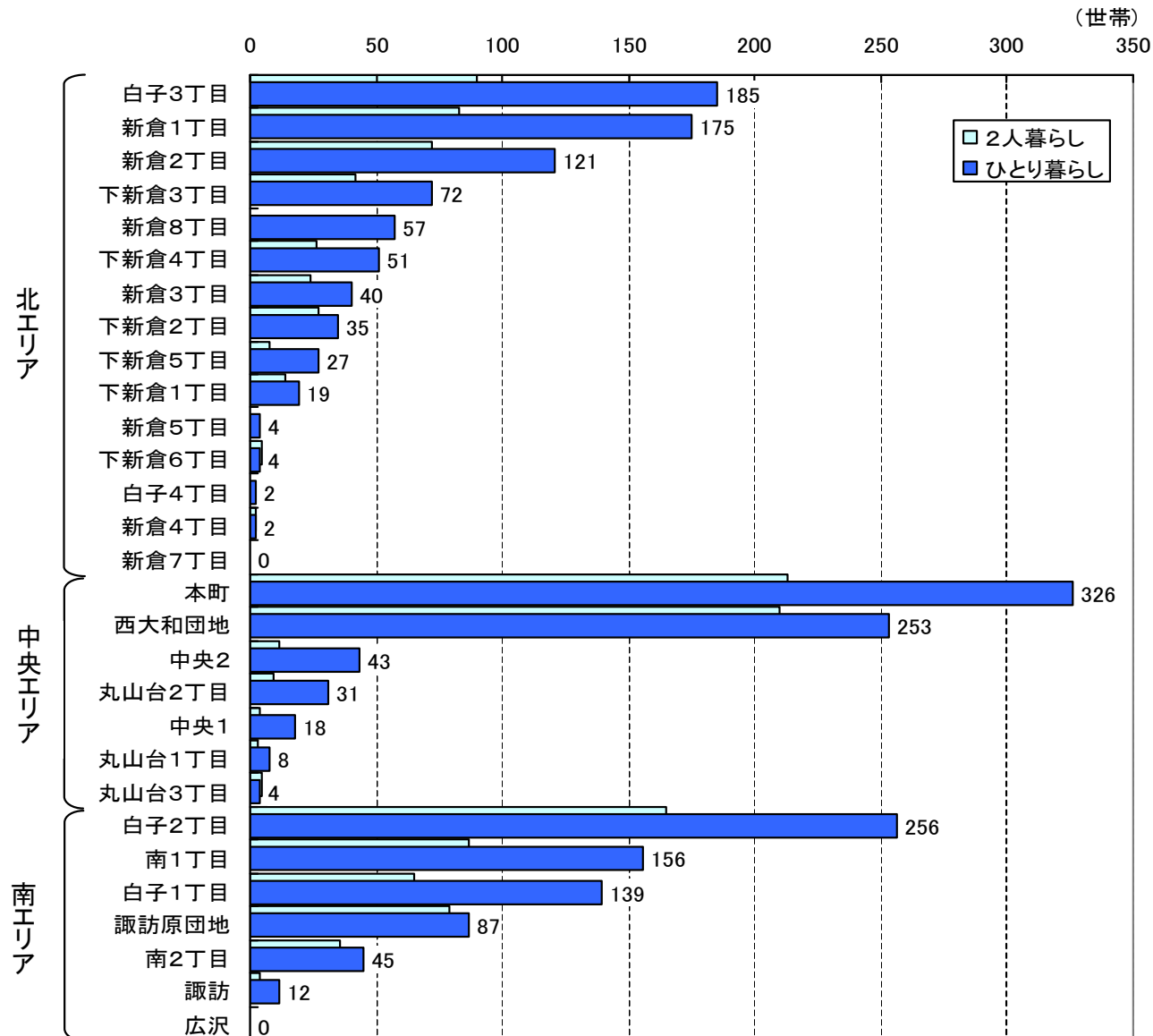
↓

政策準備評価  
介護予防サービスの必要量把握・サービス基盤整備指標

# 地区別高齢者数



# 地区別ひとり暮らし・2人暮らし高齢者世帯数



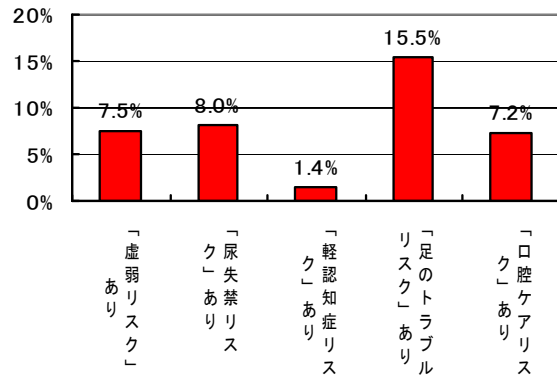
# 地区別にみた要介護(要支援)認定者数(1)

地区	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
白子3丁目	1	4	19	15	17	14	8	78
白子4丁目	0	0	0	0	0	0	1	1
新倉1丁目	3	7	11	14	24	19	10	88
新倉2丁目	0	3	8	22	17	14	10	74
新倉3丁目	0	0	2	6	5	5	0	18
新倉4丁目	0	0	2	1	0	0	0	3
新倉5丁目	0	0	0	0	1	0	0	1
新倉7丁目	0	0	0	0	0	0	0	0
新倉8丁目	0	0	1	1	11	27	15	55
下新倉1丁目	0	1	3	2	6	2	3	17
下新倉2丁目	1	0	6	5	6	5	3	26
下新倉3丁目	0	2	3	13	3	8	4	33
下新倉4丁目	0	2	2	6	6	8	2	26
下新倉5丁目	0	0	4	3	4	1	1	13
下新倉6丁目	0	0	0	0	1	0	0	1
北エリア計	5	19	61	88	101	103	57	434
西大和団地	1	1	17	17	11	12	6	65
本町	5	5	30	25	20	22	18	125
中央1丁目	0	3	2	4	1	1	3	14
中央2丁目	0	1	5	9	10	1	1	27
丸山台1丁目	0	0	1	1	1	0	0	3
丸山台2丁目	1	0	1	4	7	0	1	14
丸山台3丁目	0	0	0	2	2	1	1	6
中央エリア計	7	10	56	62	52	37	30	254
南1丁目	3	5	17	13	14	18	14	84
南2丁目	0	1	2	5	3	2	2	15
白子1丁目	3	1	10	17	16	13	13	73
白子2丁目	3	0	27	24	25	16	12	107
諏訪原団地	0	2	6	4	6	5	2	25
諏訪	0	0	4	3	3	2	0	12
広沢	0	0	1	0	0	0	0	1
南エリア計	9	9	67	66	67	56	43	317

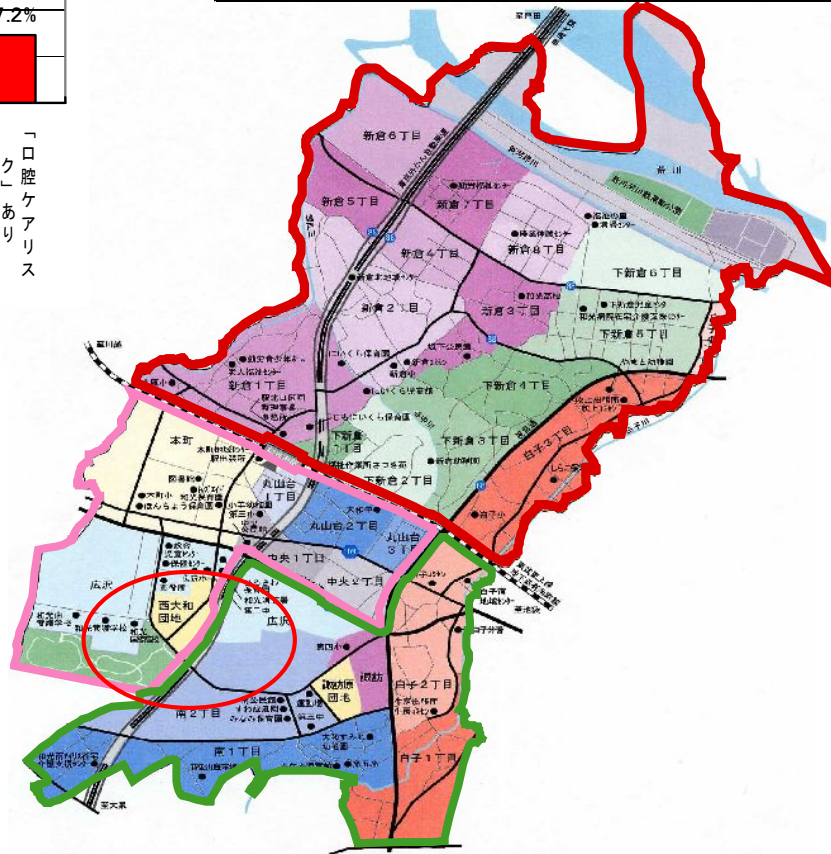
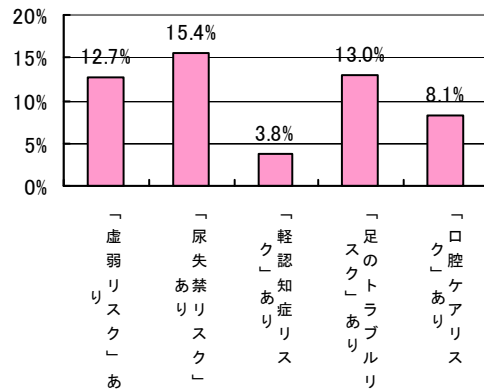
# 認知症リスク等の状況(W市)

日常生活圏域	「虚弱リスク」あり		「尿失禁リスク」あり		「軽認知症リスク」あり		「足のトラブルリスク」あり		「口腔ケアリスク」あり		回答者数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
グランドデザイン北エリア	27	7.5%	29	8.0%	5	1.4%	56	15.5%	26	7.2%	361
グランドデザイン中央エリア	47	12.7%	57	15.4%	14	3.8%	48	13.0%	30	8.1%	369
グランドデザイン南エリア	37	9.1%	50	12.3%	8	2.0%	53	13.0%	27	6.6%	407
総計	111	9.8%	136	12.0%	27	2.4%	157	13.8%	83	7.3%	1137

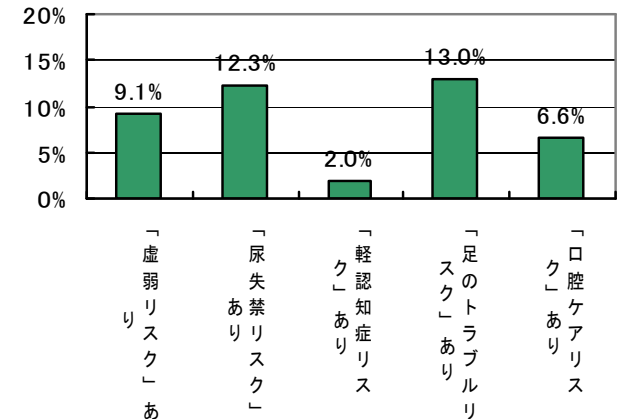
グランドデザイン北エリア



グランドデザイン中央エリア



グランドデザイン南エリア



問45 現在の住まい(住居形態)

(%)

		回答者数 (人)	一戸建て 持ち家	一戸建て 借家	分譲マンショ ン	賃貸マンショ ン・アパート	公営住宅 (賃貸)	公社・公団 (賃貸)	社宅、寮、 官舎	その他	無回答
一般 調査	全体	1,773	53.1	3.8	23.3	5.5	0.8	9.4	0.3	0.8	2.9
	北	320	79.1	4.7	7.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.6	2.2
	北第2	351	67.8	5.7	14.0	7.1	0.0	0.3	0.9	0.3	4.0
	中央	496	28.4	3.2	25.4	5.0	2.6	32.1	0.2	0.4	2.6
	南	606	51.2	2.6	35.1	5.0	0.2	1.2	0.3	1.7	2.8
同居	全体	1,529	56.5	3.1	23.3	4.1	0.6	9.0	0.3	0.8	2.2
	北	285	81.8	4.2	7.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.4	1.8
	北第2	311	72.0	6.1	13.5	5.1	0.0	0.3	0.6	0.3	1.9
	中央	407	30.2	1.5	28.5	3.2	2.0	31.7	0.2	0.5	2.2
	南	526	54.0	2.1	33.7	4.2	0.2	1.3	0.4	1.5	2.7
独居	全体	978	31.8	4.7	27.0	14.4	2.0	17.0	0.0	1.1	1.9
	北	119	47.1	7.6	7.6	32.8	0.0	0.0	0.0	0.8	4.2
	北第2	116	44.8	7.8	19.0	22.4	0.0	0.9	0.0	1.7	3.4
	中央	351	12.8	3.7	24.8	9.1	5.1	43.3	0.0	0.0	1.1
	南	280	32.9	2.9	48.9	9.6	0.0	1.1	0.0	2.9	1.8
	不明	112	58.9	6.3	8.0	15.2	1.8	8.9	0.0	0.0	0.9



問46 和光市での居住年数

(%)

		回答者数 (人)	1年未満	1～3年未 満	3～5年未 満	5～10年未 満	10～20年 未満	20～30年 未満	30～50年 未満	50～60年 未満	60年以 上	無回答
一 般 調 査	全体	1,773	0.7	2.0	2.3	6.0	10.2	16.6	45.8	5.5	8.9	2.0
	北	320	0.0	2.5	1.3	6.6	9.1	12.2	49.4	5.9	11.6	1.6
	北第2	351	0.9	2.6	3.7	4.8	8.5	17.9	43.6	4.0	11.1	2.8
	中央	496	1.0	1.8	2.2	4.8	11.1	22.0	40.7	6.3	8.3	1.8
	南	606	0.8	1.5	2.1	7.3	11.1	13.9	49.3	5.6	6.6	1.8
同 居	全体	1,529	0.7	1.9	2.2	5.7	9.5	17.5	46.5	5.4	9.4	1.2
	北	285	0.0	2.1	1.4	6.3	9.1	12.6	49.8	5.3	12.3	1.1
	北第2	311	1.0	2.9	3.2	4.5	8.0	18.6	44.4	4.2	12.2	1.0
	中央	407	1.0	1.2	2.0	4.2	9.3	24.3	41.5	6.4	8.6	1.5
	南	526	0.8	1.7	2.3	7.2	10.8	14.1	49.8	5.5	6.7	1.1
独 居	全体	978	1.6	3.1	3.2	8.7	13.1	16.3	42.6	4.7	5.3	1.4
	北	119	0.0	2.5	1.7	14.3	12.6	10.9	49.6	5.0	2.5	0.8
	北第2	116	0.9	1.7	3.4	10.3	15.5	19.0	37.1	1.7	8.6	1.7
	中央	351	1.7	3.4	4.3	8.8	17.1	21.1	31.9	4.3	6.3	1.1
	南	280	2.1	3.6	1.8	6.1	9.6	13.2	52.1	6.4	3.2	1.8
	不明	112	2.7	2.7	4.5	7.1	7.1	11.6	50.9	4.5	7.1	1.8

問45 今後、今よりも健康状態が悪くなった時に、どのような暮らし方を希望しているか  
 (「一人世帯調査」のみで質問) 複数回答(%)

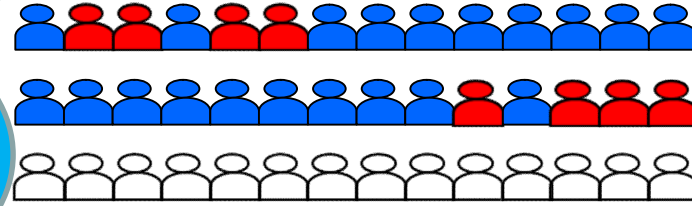
		回答者数 (人)	今のまま一人暮らしを 続ける	子どもや親 戚の家の近 くに転居	子どもや親 戚の家に転 居	子どもや親 戚を呼び寄 せる	介護施設や 有料老人 ホームなど に入る	その他	無回答
独居	全体	766	47.7	6.1	6.0	4.0	28.2	3.8	4.2
	北	89	59.6	7.9	1.1	2.2	20.2	3.4	5.6
	北第2	86	47.7	3.5	7.0	5.8	29.1	3.5	3.5
	中央	270	52.6	5.9	4.4	3.3	25.6	3.7	4.4
	南	209	36.4	7.7	8.6	4.3	34.9	4.8	3.3
	不明	112	47.3	4.5	8.0	5.4	27.7	2.7	4.5

# 日常生活圏域サービス基盤のイメージ（和光市）

・和光市中央エリア 人口3.8万 高齢化率13%  
 認定率10.2%・面積（中型） 人口密度（高）

## 中央エリア 日常生活圏域基盤の例

### 圏域内高齢者数



一般高齢者  
 要介護者等  
 将来増加者

### サービス必要量（ニーズ）

多様サービスの整備による事業  
 運営とニーズ充足

### サービス供給量



24H訪問介護  
 通所介護  
 24H訪問看護

高齢化率の把握より高齢者人口の増加率がポイント

このエリア内にUR  
 賃貸西大和団地  
 1578世帯  
 3359人  
 高齢化率32.8%  
 の対策要

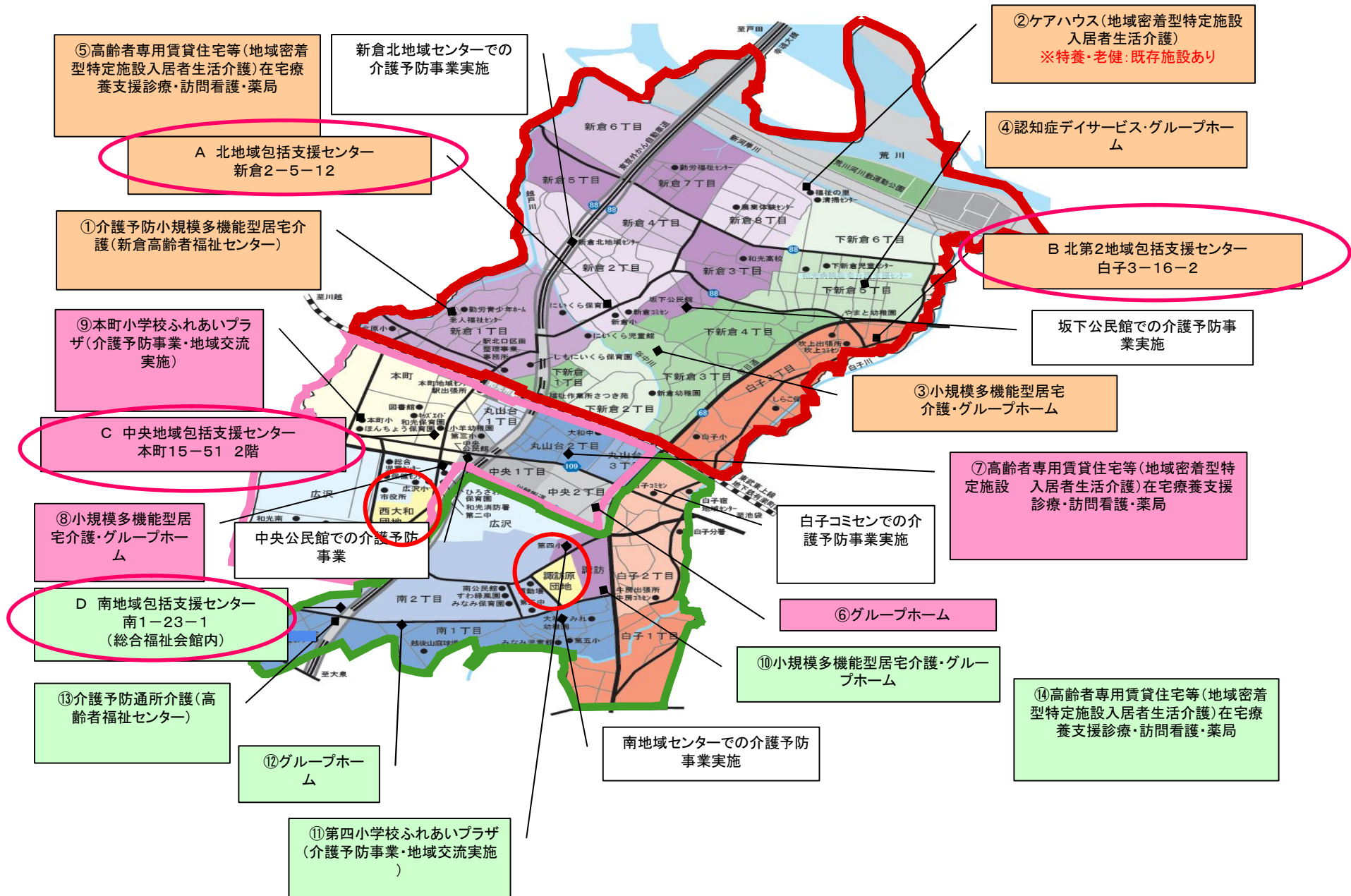
北エリア

中央エリア

※急速な高齢化の進展、前期高齢者及び団塊の世代の人口群が高い

Eエリア

# 日常生活圏域・地域包括ケアデザイン：サービス基盤整備



# 中央エリアにおける日常生活圏域の 課題分析から効率的・効果的な施策 を展開する

- 住み替え家賃差額助成制度（上層階から低層階等）
- グループホーム・高齢者専用賃貸住宅等家賃助成
- 和光市高齢者支援住宅事業（ワンルーム再活用）  
（個室指定型の生活支援・家賃助成）
- リスク地区優先のサービス基盤整備（公有地活用）  
（小規模多機能型居宅介護併設グループホーム等）
- 自治会再生から高齢者支援ネットワークの構築等

# 今後のURの役割に期待すること

- 介護保険事業計画とUR住宅方針の連結
- 2015:2025:2035を見据えた計画的な運営方針の明示(具体的施策とその財源のあり方)
- ※高齢者の尊厳と生活の質の向上を念頭においた賃貸住宅運営(生活支援セット)
- ※介護医療サービス必要地域の把握と早急整備
- ※UR建て替え住宅からの難民へのコーディネートと地域包括支援センターの連携
- ※自治会・管理組合に高齢者支援部会の設置支援
- ※既存UR住宅のある自治体の介護保険事業計画策定委員会への参画